

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 社会医療法人社団十全会		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0804 岡山市北区中井町2丁目5-1	
本票作成	部署名：事務部 設備担当				
主たる業種	分類コード	83	業種名：医療業		
事業の概要	循環器を主とした急性期病院				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	心臓病センター榊原病院		岡山市北区中井町2丁目5-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 27 年度)	(令和 2)年度排出量	目標年度 (令和 2 年度)
	4,850 t CO ₂	3,093 t CO ₂	4,608 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 2)年度排出量
	①	心臓病センター榊原病院	3,093 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 28 年度 ～ 令和 2 年度 (5 箇年度)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(2) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	36.2 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2) 年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 2 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

当院のエネルギー使用は、主に①空調設備（冷暖房）と②医療機器が大半を占めている。
 ①主要の熱源機器のエネルギー使用量は、外気温度によって大きく影響を受けるため、季節ごとに運転時間や風量を管理を行うことで省エネを図っている。
 ②医療の高度化に伴って医療機器の増加や消費エネルギーの増加傾向にあるが、可能な範囲で省エネルギー機種を選定するなど、CO₂排出量の低減に努めている。
 ③委員会を中心に積極的に省エネに取り組んでいる。

【推進体制】

エネルギー管理に伴う統括者・企画推進者を選任、またエネルギー管理員2名選任活動の中心である「環境委員会」へ企画推進者の選出・効率的なエネルギー管理を遂行する。過去のエネルギー使用量を季節・時間帯など要素を取り入れ、管理の見直しを随時行う。環境委員会では、エネルギーの削減・業務効率を中心に活動し、定期的な院内ラウンドを実施している。電気使用量を部署ごとに公表し、省エネ活動を啓蒙。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
心臓病センター榊原病院	<p>(平成25年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各機器に対する管理基準の作成 ○エネルギー管理者・管理員の選出 <p>(平成26年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貯湯システム・空冷チラーの運転管理の見直し ○外調機の運転管理の見直し(運転温度・時間) <p>(平成27年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○外調機の運転管理の見直し(凍結防止) ←中止 ○EHPの時間帯別 温度設定の導入 <p>(平成28年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○熱源機器(空冷ヒートポンプチラー)の管理の見直し <p>(平成29年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夜間帯のエネルギー使用量改善 <p>(平成30年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貯湯システムの運転管理見直し(貯湯時間の変更) ○外調機運転開始時のパラメーター調整(冷水電磁弁の動作) ○サウナ室運転時間見直し(5,600kWh 3.74tCO2) ○プールろ過装置の運転時間の見直し(19,564kWh 13.0tCO2) <p>(平成31年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○窓に遮熱フィルムを取付け(空調負荷の低減を図る) ○プール床暖房のグループ停止(11,336kWh 7.0tCO2) ○プール床暖房の間欠運転(11,563kWh 7.0tCO2) ○放射線64列CTを80列CTに更新[待機電力省エネ](30,000kWh 19.0tCO2) <p>(令和2年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電動機器更新時トップランナーの採用(2台導入) ○中央材料室電気式ボイラーの適時運転導入(3,456kWh 2.0tCO2) ○温室効果ガス排出量が少ない電気事業者に変更(687.0CO2) ○据え置き型電気温水器停止による節電効果() ○プールろ過装置 昇温用3方弁の制御見直し(1,600kWh) ○電気室のPAC冷房設定温度見直しによる節電(計量器なし) ○外気処理調整機の凍結信号(3℃→0℃)へ変更 ○温室効果ガス排出係数が低い電気事業者へ変更(F-Power) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ノイズカットフィラメントの導入(現在試験中)(kWh tCO2) ○高効率ヒートポンプ給湯機の制御見直し(kWh tCO2) ○雨水滅菌装置の季節制御の追加(2,860kWh tCO2) ○電動機器更新時トップランナーの採用(kWh tCO2) ○温室効果ガス排出係数が低い電気事業所への変更(関西電力)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--